

平城宮跡第一次大極殿院 東樓竣工記念講演会

ひがしろう
よみがえる“東樓”
—世界遺産平城宮跡における建造物の復原を考える—



2026/4月19日
13時00分～17時00分

会場：奈良県コンベンションセンター会議室203・204
〒630-8013 奈良県奈良市三条大路一丁目691-1 近鉄新大宮駅徒歩10分

参加費無料 事前申込制

【定員】500名
参加お申込はこちら→



主催：独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所、国土交通省近畿地方整備局国営飛鳥歴史公園事務所

後援：文化庁、奈良県、朝日新聞社大阪本社、NHK奈良放送局、近畿日本鉄道株式会社

開催趣旨

2026年3月に、世界遺産「古都奈良の文化財」の構成資産のひとつである「平城宮跡」において、「第一次大極殿院 東楼」が完成します。

その竣工を祝するとともに、平城宮跡の望ましい保存・活用にむけた東楼の復原の意義・効果を、広く一般の皆様と考え、共有する場にしたいと思います。また、1300年前に失われた建造物を現在に復原できるのは何故なのか、特に最近はアジア諸国からの注目が集まっています。そこで、復原整備工事を実施してきた国土交通省および復原のための調査研究に深く関わってきた奈良文化財研究所が、その成果・知見を発信します。

本講演会を、引き続き西楼および回廊の復原事業を推進し、調査研究を深化させていくための出発点にできれば幸いです。



プログラム

12:00	開場・受付開始
13:00~13:10	主催者あいさつ
13:10~14:10	基調講演
(休憩)	過去を再現する試みの今日的意義 —平城宮跡の復原事業を世界遺産の文脈で考える 稻葉 信子(筑波大学名誉教授)
14:20~14:45	報告 1
14:45~15:10	報告 2
15:10~15:30	報告 3
15:35~17:00	パネルディスカッション 「未来に生きる復原建造物—その活かし方—」 コーディネーター 本中 真 パネラー 稲葉 信子 柳澤 秋介 竹田 博康 瀧川 悟 中村 俊介 山下 信一郎 (奈良文化財研究所長) (奈良県ビズターズビューロー専務理事) (株式会社瀧川寺社建築代表取締役社長) (朝日新聞大阪本社編集委員) (文化庁文化財鑑査官)

※登壇者は現時点での予定です



会場

奈良県コンベンションセンター
会議室203・204



近鉄新大宮駅徒歩10分
JR奈良駅徒歩15分
バス「奈良市府前」下車すぐ

<<<アクセス詳細

申込方法

下記QRコードより
お申込みください▼

申込期間

2/19(木)~3/31(火)

定員500名 事前申込制

※お申込多数の場合は
抽選となります

